



日本応用藻類学会主催  
日本応用藻類学会第 17 回大会  
プログラム

1. 開催日 2018年5月12日(土) 10:00~17:30
2. 会場 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学 楽水会館大会議室
3. 日程

|             |                |
|-------------|----------------|
| 9:30~       | 受付開始           |
| 10:00~12:15 | 口頭発表           |
| 13:20~13:50 | ポスター発表         |
| 14:00~16:00 | 企画シンポジウム       |
| 16:00~17:00 | 総会             |
| 17:15~19:15 | 懇親会 (大学会館生協食堂) |

## 企画シンポジウム

### 「海藻成分の疾病に対する予防・抑制効果」

趣旨：海藻は太古から食材や藻塩作りに利用されてきました。現在でも種々の海藻は食材として利用されており、近年では低カロリーかつ高食物繊維の健康食品として国内外で注目されています。さらに陸上植物にはない海藻類に特有で、健康に有益な多糖類やポリフェノール系の成分が含まれています。

そこで本年度の企画シンポジウムでは、「海藻成分の疾病に対する予防・抑制効果」をテーマとして、海藻成分が持つ疾病予防への有効性について、最近の研究成果を含めて講演を頂き、論議を深めたく思います。また、皆様にはこのシンポジウムを通じて海藻が健康増進に有益な効果を持つことを知って頂き、これからの応用藻類学分野が果たすべき海藻の利用法としての可能性を探ることを願い企画しました。

(企画責任者：丸山弘子)

### プログラム

14:00～14:05 S01 [趣旨説明]

: 丸山 弘子 (北里大学)

14:05～14:35 S02 [感染症予防に役立つ海藻成分について]

: 林 京子 (中部大学)

14:35～15:05 S03 [海藻成分のがん抑制効果をもたらす血管新生阻止作用について]

: 芦野 洋美 (千葉大学)

15:05～15:35 S04 [ワカメのⅡ型糖尿病予防効果について]

: 丸山 弘子 (北里大学)

15:35～16:00 S05 [総合討論]

パネリスト： 林 京子 (中部大学)

芦野 洋美 (千葉大学)

丸山 弘子 (北里大学)

## 口頭研究発表・午前（10:00～12:15）

- 10:00 A01 マコンブ藻場における海藻増殖法の開発  
○八谷光介・松本有記雄・佐々木 系・白藤徳夫・村岡大祐  
(国立研究開発法人水産機構東北区水産研究所)
- 10:15 A02 瀬戸内海の‘貧栄養化’が藻場の生物生産に及ぼす影響—アカモクを用いた予備的検討について  
○吉田吾郎・阿部和雄・島袋寛盛・堀正和・首藤宏幸・阿保勝之  
(水産研究教育機構瀬戸内水研)
- 10:30 A03 生殖斑形成が特徴的な函館産原始紅藻の形態観察  
○須田昌宏\*・三上浩司\*\*  
(\*北海道大学水産科学院, \*\*北海道大学水産科学研究院)
- 10:45 A04 アマノリ類の世代交代は本当に二相性か？  
○三上浩司\*・李成澤\*・濱洋一郎\*\*  
(\*北大水産, \*\*佐賀大農)
- 11:00 A05 廃棄色落ちノリは生命科学分野に有効利用可能な寒天の新しい原材料となる  
○流石啓司\*\*・山梨智也\*\*・中山滋\*\*・小野秀悦\*\*\*・三上浩司\*  
(\*北大院水, \*\*鈴与総研, \*\*\*宮城県漁協)
- 11:15 A06 スジアオノリ藻体抽出液添加による組織片の分化様式  
喜多侑弥・○團昭紀・岡直宏・齋藤稔・浜野龍夫  
(徳島大院水圏教育研究センター)
- 11:30 A07 紅藻 *Agardhiella subulata* 組織片の新芽形成に対する光波長の影響  
○岡直宏\*・佐藤陽一\*\*・中西達也\*\*\*・山室達也\*・齋藤稔\*・團昭紀\*・浜野龍夫\*  
(\*徳島大院水圏教育研究センター, \*\*理研食品(株), \*\*\*徳島県水研)
- 11:45 A08 海藻中のβ-カロテンの簡易分析法  
○垣田浩孝\*・小比賀秀樹\*\*  
(\*日大文理, \*\*産総研健康工学)
- 12:00 A09 マクサの晒しと寒天のゲル形成能  
○田代有里\*・末廣圭一\*\*・趙靖希\*\*・小川廣男\*\*  
(\*京都府立大学, \*\*東京海洋大学)

## ポスター研究発表（13:20～13:50）

- P01 海洋深層水を用いたトサカノリの陸上養殖技術の開発  
照屋清之介  
（沖縄県海洋深層水研究所）
- P02 島根県隠岐島沿岸のツルアラメ 2 形の群落構造  
○林裕一\*・能登谷正浩\*\*・四ツ倉典滋\*\*\*  
（\*岡部(株)応用藻類学研究所，\*\*応用藻類学研究所，\*\*\*北大フィールド科学センター）
- P03 脂肪細胞を用いたワカメ成分による糖代謝促進機構の解析  
○郡沙苗\*・谷口莉子\*・今井基貴\*\*・川上文貴\*\*\*・丸山弘子\*  
（\*北里大医療衛生再生医療細胞デザイン，\*\*北里大院医療系，\*\*\*北里大病態生化学）
- P04 宍道湖に繁茂する緑藻シオグサ類が溶存酸素濃度を与える影響  
○原口展子・國井秀伸  
（島根大学エスチュアリー研究センター）